

レクチャー及び資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：平成28年3月2日(14:00)



国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について (ゴム引布製起伏堰の長期性能評価に関する研究)

国立研究開発法人土木研究所では、平成28年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

ゴム引布製起伏堰の長期性能評価に関する研究 (詳細は別添-1)	平成28年5月(予定)
担当：技術推進本部先端技術チーム 材料資源研究グループ	～平成31年4月
共同研究の目的(必要性) ゴム引布を利用したゴム引布製起伏堰(ゴム堰)は、施工や維持管理の容易さや流水疎通の確実性等から、国内で広く普及している。近年、設置後十数年以上経過したゴム堰が増えており、老朽化等によりゴム袋体の補修や更新を行うことも多くなっている。しかし、これまで経年劣化を経たゴム堰の基礎的な研究が少なく、劣化に合った補修方法の選定方法、余寿命の予測方法などがないなど、維持補修や更新の最適化が行われていない。 このため、経年劣化を経たゴム堰の性能評価方法の開発を目的として、繰返し応力を受ける箇所の損傷、応力集中が原因とみられる局所的な損傷、紫外線や夏季の高温による材料の劣化などの基礎的な検討を行い、これらの損傷に適した補修方法の開発を行う。 共同研究者は土木研究所との連携によって、全国のゴム堰劣化データや知見を得られ、製品や技術開発に活用できるばかりでなく、成果公表の際の波及効果が高く、現場への技術導入の促進が見込める。	
共同研究の内容 (1) ゴム引布の経年劣化に関する性能評価方法の開発 (2) 応力分布の解析方法の開発 (3) 損傷に適した補修方法の開発	

2. 募集期間 **平成28年3月2日(水)から平成28年4月4日(月) 17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 大住 道生 主査 古田 佳吾 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 材料資源研究グループ 上席研究員 新田 弘之 研究員 百武 壮 電話 029-879-6763

別添-1

1. 共同研究の名称

ゴム引布製起伏堰の長期性能評価に関する研究

2. 共同研究の概要

< 共同研究の目的 >

ゴム引布を利用したゴム引布製起伏堰（ゴム堰）は、施工や維持管理の容易さや流水疎通の確実性等から、国内で広く普及している。近年、設置後十数年以上経過したゴム堰が増えており、老朽化等によりゴム袋体の補修や更新を行うことも多くなっている。しかし、これまで経年劣化を経たゴム堰の基礎的な研究が少なく、劣化に合った補修方法の選定方法、余寿命の予測方法などがないなど、維持補修や更新の最適化が行われていない。

このため、経年劣化を経たゴム堰の性能評価方法の開発を目的として、繰返し応力を受ける箇所の損傷、応力集中が原因とみられる局部的な損傷、紫外線や夏季の高温による材料の劣化などの基礎的な検討を行い、これらの損傷に適した補修方法の開発を行う。

共同研究者は土木研究所との連携によって、全国のゴム堰劣化データや知見を得られ、製品や技術開発に活用できるばかりでなく、成果公表の際の波及効果が高く、現場への技術導入の促進が見込める。

< 共同研究の内容（項目） >

（1）ゴム引布の経年劣化に関する性能評価方法の開発

- ①繰返し载荷による材料特性の評価の検討
- ②劣化による材料特性の評価の検討

（2）応力分布の解析方法の開発

（3）損傷に適した補修方法の開発

3. 実施期間 平成28年5月（予定）～平成31年4月

4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担

研究項目	研究細目	研究分担※1		年次計画		
		土研	共同研究者	28年度	29年度	30年度
(1) ゴム引布の経年劣化に関する性能評価方法の開発	①繰返し载荷による材料特性の評価の検討	◎	○	←————→		
	②劣化による材料特性の評価の検討	◎	○	←————→		
(2) 応力分布の解析方法の開発	①応力分布の解析方法の開発	○	◎	←————→		
(3) 損傷に適した補修方法の開発	①損傷に適した補修方法の開発	○	◎	←————→		

※1 研究分担において、研究分担に主従がある場合は、主として分担する場合は◎印、従として分担する場合は○印とする。

<裏面もご覧下さい>

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

- ① ゴム堰の設計（施工時設計を含む）かつ施工の実績を有すること。
- ② ゴム堰の点検かつ補修の実績を有すること。
- ③ ゴム堰に用いるゴム袋体の製作の実績を有すること。
- ④ ①～③いずれかの条件を満たし、本共同研究に必要な専門技術者の配置及び必要な費用を分担できる会社又はグループとする。

< 参加者数 >

5 者程度を想定

< 参加者の選定方法 >

書類審査、必要に応じて個別ヒアリングを行い選定する。

6. その他

申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。

7. 担当者

材料資源研究グループ

新田・百武（TEL：029-879-6763）